平成29年度(名古屋大会)の一般口演の演題募集要項

**■応募資格**

1）筆頭演者は日本良導絡自律神経学会の正会員、海外会員、準会員に限る(なお、筆頭演者は1人1題とする)。なお、学会または主催者からの依頼による場合は例外とする。

2）共同発表者は正会員、海外会員、準会員、学生会員および単年度会員(その年度の発表にのみ限定、登録費用1回5,000円)とする。

3）外国語での発表は基本的には原語で行う。日本語の翻訳発表を行う場合は翻訳責任者が行い、抄録、発表画像、発表原稿の総てにおいて筆頭演者と同等の責任を有する。

**■応募内容**

良導絡に関係する基礎研究・臨床研究・調査・教育などであること。

なお、個人情報の保護、倫理面での配慮、利益相反などに関する事項には十分に注意を払うこと。

**■応募期間**

1) 演題のみ

平成29年7月15日より平成29年7月30日まで。

2) 抄録原稿

平成29年7月15日より平成29年8月27日まで。なお、抄録締め切り後の演題登録は受け付けできませんのでご了承下さい。抄録の受理後はメールにて応募者に受理の連絡を致します。

3) 査読に関して

原則として抄録、発表原稿も査読を行い、訂正が必要な場合はメールで連絡致します。

なお、査読内容に関しては論文査読規定に準ずる。

**■応募先**

〒210-0023 神奈川県川崎市川崎区小川町7-1-606 経絡道川崎治療院　学術部長 桑原 俊之　宛

電話044-246-9266

演題・抄録の提出 congress@jsrm.gr.jp　にメール送信下さい。

**■応募方法**

下記の抄録原稿作成上の注意事項に従って、インターネットにて応募して下さい。文字化けの可能性があるために必ずご自身でチェックした後に、打ち出した原稿も送付して下さい。

なお、インターネット投稿が出来ない場合は下記にご相談下さい。

学術部長 桑原 俊之 電話044-246-9266 　Eメールinfo@keirakudou.jp

**■発表形式および発表画像の提出期限**

・マイクロソフトのパワーポイント10枚以内(動画は不可)

・発表画像の提出は、平成29年9月23日（土）まで

**■演題の採否**

演題の採否は大会会長が決定し、その後に発表日時と会場などを通知致します。

なお、大会会長は抄録原稿の訂正加除を勧告することができる。また、抄録の著作権は、日本良導絡自律神経学会雑誌の投稿規定に準じて学会に委譲していただきます。

**■一般口演演題12題予定**

[抄録原稿形式]:原稿用紙400字詰め2枚以内に演題・所属・氏名・キーワード5つ以内・目的・方法・結果・考察・結語をまとめて下さい。演題・抄録・発表画像は本部ホームページのメールアドレス(congress@jsrm.gr.jp)宛にメール送信下さい。

**■発表当日のお願い**

なお、発表当日に演者・座長受付にて、発表される1時間前までに来場された旨を知らせ、試写確認を行って下さい。また、当日の差し替えはご遠慮下さい。

原則として口演時間は発表が8分、質疑応答は5分です。発表は時間厳守でお願い致します。

(発表終了前1分:ベル1回、発表終了時:ベル2回、質疑応答終了1分前:ベル1回、質疑応答終了時:ベル3回)　なお、一般口演の抄録作成上の注意事項は次をご参照下さい。

**一般口演抄録作成上の注意事項**

原則として、例年通りの編集形式を踏襲しています。下記の抄録例を参考にして下さい。

査読後の抄録は必要に応じてフォント、大きさ、行数などは変更する場合があるが、原則として本文はそのまま抄録集として本学会のホームページで公開し、学術部が作成した抄録集は学術大会の開催地において参加者に当日配布する。なお、ヘッダー部分には下記の記載が入ります。

**一般口演① 〇月○日( )○ 階○会場 ○ :○○～○ :○○ 座長:○〇・〇〇**

1) 抄録は現代かなづかいで横書きとし、MS明朝、10.5 全角で、数字や記号は半角で、専門用語以外は常用漢字新かなづかいで楷書で書き、欧文はCentury,10.5 半角で活字体として、文字数は600字から800字以内に収めて下さい。

良導点および良導絡については良導絡表記を優先し、経穴名や経絡名は補足の形をとる。

例:H64(合谷)、H6(大腸良導絡)

欧文も同様で、経穴名や経絡名はWHO表記を補足の形とする。

例:H64(L14)、H6(LI)

2) 第1項はタイトルおよびサブタイトルとし、なるべく短くする。

次の所属機関(正式名称)、所属ブロックまたは支部名と筆頭演者、共同発表者を記入する。

なお、発表者が複数の場合で所属が異なる場合は番号を付記する。また、発表者が複数の場合は筆頭演者の前に〇印を付記する。

**例　: 　良導絡で改善した一症例**

**― ○○症候群 ―**

**××大学医学部生理学教室1)△ △病院麻酔科2)**

**○ ×ブロック 〇中谷　太郎１）２）　良導絡　二郎２）**

3) 抄録は[目的]、[方法]、[結果]、[考察]、[結語]に分けて記載してください。ただし、症例報告では[方法]を[症例]として下さい。

4) キーワードは抄録内容を正確に代表するもので、なるべく短い用語を使用し、類似した用語の並列は避けて3～ 5字以内にして下さい。